

# BUSINESS REPORT

## 第22期 中間株主通信

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



株式会社バイ・テクノロジー

(証券コード:7717)

## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは1997年の創業以来、独自の経営と技術でイノベーティブな製造装置・検査装置をお客様にお届けしてまいりました。

近年は、独自の製品開発と積極的なM&Aで競争力のあるユニークな技術の獲得に成功しております。また、中国を中心に製造装置設備市場が高水準で推移した為、2016年3月期から2018年3月期まで3期連続で売上、利益の最高額を更新いたしました。

当社の事業は、TV等の大型LCDディスプレイに関わる製品（設備）が大半を占めていますが、さらなる収益の拡大と安定を図るべく、様々な挑戦を続けています。

OLEDの製造においては、蒸着工程の核となる蒸着マスクと蒸着装置の事業を担う、株式会社ブイ・イー・ティー（VET）を山形県米沢市に設立いたしました。

VETの蒸着マスク事業は、当社グループが初めて挑戦する部材の事業であり、2019年春からの出荷を目指し準備が進められています。OLEDの生産時に大量に消費される高精細蒸着マスクをパネルメーカーの皆様にも広く提供し、設備投資の影響をうけにくい、安定的な収益源の確立を目指しています。



代表取締役社長  
杉本 重人

また、VETと共に開発中の縦型蒸着装置は、G6サイズの基板を半分に断裁することなく蒸着が可能となる、生産性の高い蒸着装置を目指すもので、2020年の出荷を目指し準備が進められています。

さらに、これまで取り組んできたディスプレイ分野と異なる半導体分野、中でも産業政策を背景に著しい発展が期待できる中国市場への進出を目指し、様々な取り組みを重ねています。すでに現地に製造装置の合併会社を設立し同社における事業の第一弾として半導体用ウェハの研磨装置事業に着手し、2019年より営業活動を本格化させる予定です。

今後も株主の皆様のご期待に添えますよう、大いなる志と、溢れる情熱で世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年(2018年)12月

### 第2四半期決算ハイライト



## 浙江芯暉設備技術有限公司（Z-CEST）について

世界のテクノロジー関連市場は大きく変貌を遂げようとしており、とりわけ中国においては半導体産業を育成するべく国を挙げての取り組みがなされています。

Z-CESTは、世界で最も成長が期待できる中国市場を最優先地域と考え、当地の様々なニーズに応える、顧客密着型の製造装置メーカーとして設立されました。日本の技術や事業とダイナミックに成長する市場を結びつけ、世界有数のグローバルな装置メーカーを目指し様々な取り組みを開始しています。同社は、事業展開の第一弾としてウェハ研磨用に開発が完了した技術を用いた半導体用ウェハの研磨装置事業に取り組んでおり、中長期的には研磨装置事業に続く第二弾の事業を検討しております。同社は、2018年末のデモ用の装置完成とお客様による装置評価の開始を目指しています。

一方、同社が入居を予定している海寧半導体周辺産業パークにおいては装置メーカー用のクリーンルーム等、施設の建築が着々と進んでおります。当パークは、総面積78万㎡、総投資額32.9億元の巨大プロジェクトとして、2019年7月からの装置量産を目標に進行しています。また、揚子江デルタの南に位置し、銭塘江に隣接しており、交通の便に優れ、上海まで車で約1.5時間、杭州蕭山空港までは約40分とされています。

2018年8月28日に第4期工事の起工式がとり行われ、海寧市の朱書記、曹市長、市政府関係者、当社代表取締役の杉本他、180名が参加いたしました。当日は、入居する装置メーカーの代表として、同社の総経理である楊兆明が壇上にて、半導体国産化の重要性と地元経済発展への貢献に対する意気込みを表明いたしました。

今後も、Z-CEST及び当社は、海寧市及び関係者の皆様の支援の下お客様価値の最大化を目指し、歩みを進めてまいります。



海寧半導体周辺産業パーク  
全体イメージ

居住棟

研究棟

半導体製造装置・  
クリーンルーム・工場



起工式

売上高 (百万円)



総資本回転率 (回)



経常利益/親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



1株当たり純利益/1株当たり株主資本 (円)



経常利益率 (%)



ROE (%)

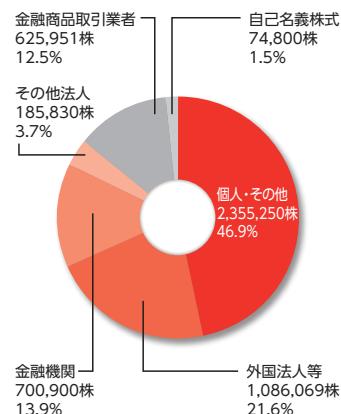


(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

株式の状況 (2018年9月30日現在)

Stock Information

- 発行可能株式総数 17,590,300株
- 発行済株式総数 5,028,800株
- 株主数 6,584名
- 株主所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
杉本重人	587,300 株	11.7%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	178,200 株	3.5%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505253	118,600 株	2.4%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	98,200 株	2.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	91,300 株	1.8%
上田ハ木短資株式会社	85,200 株	1.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口2)	67,600 株	1.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	67,300 株	1.3%
大和証券株式会社	62,500 株	1.2%
J P MORGAN CHASE BANK	61,523 株	1.2%

当社は自己株式74,800株を保有しておりますが、上記から除いております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
  - ・期末配当金 3月31日
  - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
  - ・同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
  - ・同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

社 名 : 株式会社バイ・テクノロジー  
 設 立 : 1997年10月16日  
 本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F  
 TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

## 役 員

代表取締役社長	杉 本 重 人	取 締 役	神 澤 幸 宏
専 務 取 締 役	梶 山 康 一	取 締 役	西 村 豪 人
常 務 取 締 役	米 澤 良	常 勤 監 査 役	和 田 正
常 務 取 締 役	勝 原 隆	監 査 役	大 倉 修 和
取 締 役	天 日 和 仁	監 査 役	住 田 勲 勇
取 締 役	城 戸 淳 二	監 査 役	宇 田 賢 一

1. 城戸淳二、西村豪人は社外取締役であります。
2. 大倉修和及び宇田 賢一は、社外監査役であります。

## グループ会社



## 当社HPのご案内



<https://www.vtec.co.jp/>

UD FONT

